

●● 循環器病 ●●

重点項目 9 循環器病の減少

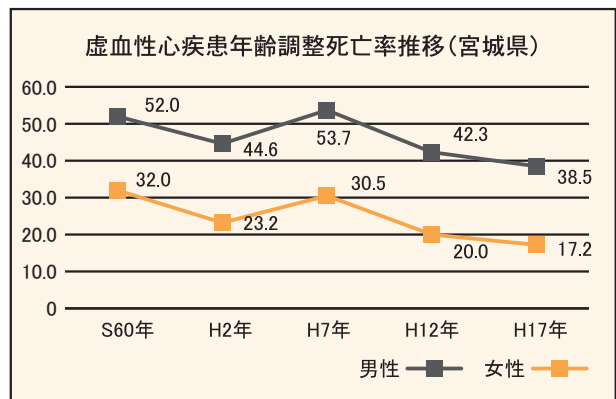
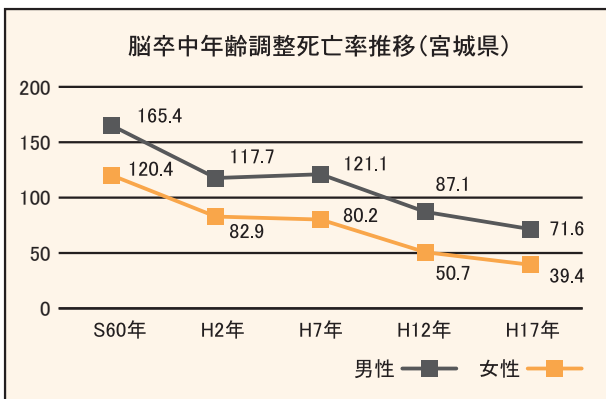
(1) スローガン

◇自分の健康状態を把握し、生活習慣を改善することにより、
脳卒中や心疾患を予防し、健康寿命を延ばそう

(2) 現 状

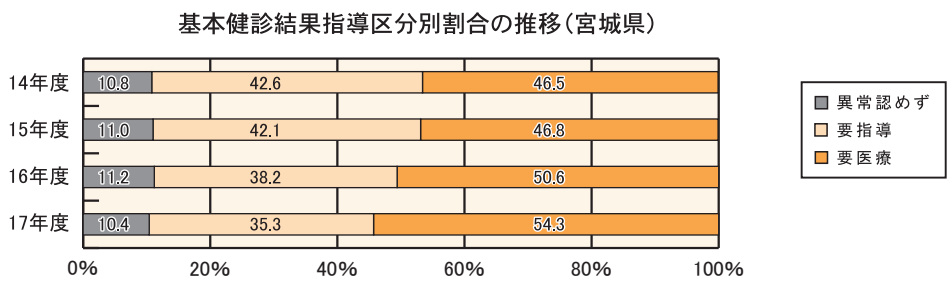
①脳卒中及び心疾患死亡率の状況

- 脳卒中と心疾患を含む循環器病は、本県の死亡原因の第2位及び第3位であり、全体の約3割を占めています。特に、脳卒中は、後遺症による生活の質（QOL）の低下を招き、健康寿命の低下につながります。
- 本県の平成17年の脳卒中死亡者は、男性1,319人、女性1,373人で、総死亡数の13.6%を占めています。また、年齢調整死亡率については、男女共に全国平均より高く、全国順位は男性第8位、女性第11位となっており、低下してきているものの低下の程度は鈍化しており、横這いになってきています。
- 平成17年の脳卒中死亡の内訳は、男性では、脳梗塞が51.4%（脳血管疾患全体に占める割合）、ついで脳内出血30.3%、くも膜下出血13.6%となっています。女性では、脳梗塞61.5%、脳内出血20.4%、くも膜下出血15.8%となっています。
- 平成17年の心疾患死亡の内訳は、男性では、急性心筋梗塞33.4%（心疾患全体に占める割合）で最も多く、ついで心不全24.4%、不整脈及び伝導障害20.3%です。女性では、心不全33.5%、急性心筋梗塞27.6%、不整脈及び伝導障害16.6%となっています。
- 平成17年の虚血性心疾患（急性心筋梗塞とその他の虚血性心疾患）による死亡者は、男性703人、女性579人で、総死亡数の6.5%を占めています。また、年齢調整死亡率については、男女とも低下傾向にあります。



②健診等の状況

- 市町村の基本健診結果の指導区分割合の推移をみると、「要指導」の割合は減少していますが、「要医療」の割合は増加しています。要指導及び要医療の内訳では、高血圧、脂質異常症、糖尿病ともに該当者数は増加傾向にあります。



資料：「地域保健・老人事業報告」

- 平成17年県民健康調査による「定期健診を受けた者の割合」については、77.8%でしたが、老人保健事業報告では平成17年度の市町村基本健診の平均受診率は50.7%であり、高齢者や主婦など職場健診の対象者以外の受診率は低いと考えられます。

(3) 目 標 値

項 目	ベースライン値	中間実績値	目 標 (H24)	
自分の血圧を知っている人の割合の増加 (成人)	65.3% ¹⁾	77.6% ²⁾	80%以上(H22)	
血圧の正常値を知っている人の割合の増加 (成人)	69.4% ¹⁾	69.3% ²⁾	80%以上(H22)	
メタボリックシンドロームの概念を知っている人の割合の増加 (成人)		(再掲)糖尿病分野		
肥満者(BMI・腹囲)の推定数の減少(成人) (男性)				
(女性)				
メタボリックシンドローム予備群の推定数の減少(40歳～74歳) (男性)				
(女性)				
糖尿病予備群の推定数の減少(40歳～74歳) (男性)				
(女性)				
高血圧症予備群の推定数の減少(40歳～74歳)*1 (男性)	84,500人 ³⁾	—	10%減少	
(女性)	73,300人 ³⁾	—	10%減少	
メタボリックシンドローム該当者の推定数の減少(40歳～74歳) (男性)		(再掲)糖尿病分野		
(女性)				
糖尿病有病者の推定数の減少(40歳～74歳) (男性)		(再掲)糖尿病分野		
(女性)				
高血圧症有病者の推定数の減少(40歳～74歳)*1 (男性)	238,700人 ³⁾	—	10%減少	
(女性)	180,800人 ³⁾	—	10%減少	
脂質異常症(高脂血症)有病者の推定数の減少(40歳～74歳)*1 (男性)	83,500人 ³⁾	—	10%減少	
(女性)	82,900人 ³⁾	—	10%減少	
メタボリックシンドローム新規該当者の推定数の減少(40歳～74歳) (男性)		(再掲)糖尿病分野		
(女性)				
糖尿病発症者の推定数の減少(40歳～74歳) (男性)		(再掲)糖尿病分野		
(女性)				
高血圧症発症者の推定数の減少(40歳～74歳)*2 (男性)	—	—	今後設定	
(女性)	—	—	今後設定	
脂質異常症(高脂血症)発症者の推定数の減少(40歳～74歳)*2 (男性)	—	—	今後設定	
(女性)	—	—	今後設定	
定期健診受診率の向上(成人)		(再掲)糖尿病分野		
特定健診実施率の向上(40歳～74歳)				
特定保健指導実施率の向上(40歳～74歳)				
医療機関受診率の向上(40歳～74歳)				
死亡率の減少	脳卒中による年齢調整死亡率 (男性)	70.7 ⁴⁾	—	63.6(10%減少)
	の減少(人口10万対) (女性)	42.5 ⁴⁾	—	38.3(10%減少)
	虚血性心疾患による年齢調整 (男性)	38.6 ⁴⁾	—	34.7(10%減少)
	死亡率の減少(人口10万対) (女性)	17.4 ⁴⁾	—	15.7(10%減少)
健康寿命の延伸	平均自立期間 (男性)		(再掲)糖尿病分野	
	(女性)			
	65歳・75歳平均自立期間 (男性)			
	(女性)			

*1 平成20年度の特定健診結果をベースライン値として目標値を設定する項目（上記のベースライン値はH18県民健康・栄養調査による参考値）

*2 平成20年度からの特定健診結果により、該当者の推定数が把握できるようになった時点でベースライン値及び目標値を設定する項目

出典：1) 平成12年県民健康栄養調査

3) 平成18年県民健康・栄養調査

2) 平成17年県民健康調査

4) 平成18年人口動態統計より算出

(4) 取組の方向性

- 県，市町村，医療保険者，職場，学校等において，医療機関や学術団体等と連携し，健診や健康教育等でメタボリックシンドローム，脳卒中及び心疾患等の予防についての正しい知識の普及と生活習慣改善の方法についての普及啓発を行います。
- 県は，医療保険者や市町村等が実施する健診及び保健指導の効果的，効率的な実施に向けて，保健指導従事者の育成や事業評価のための統計データの分析，提供等の支援を行います。
- 健診，保健指導の受診率の向上を図るため，県，市町村，医療保険者，健診機関等において，受診についての普及啓発を行うとともに，市町村等に対して，対象者への周知内容及び方法の工夫や受診機会の拡大等について，働きかけていきます。

項 目	推 進 内 容	推 進 主 体						
		県	市町村	教育機関	医療保険者	職域	医療機関等	関係団体等
循環器病に関する知識及び意識の向上	メタボリックシンドロームや循環器病に関する正しい知識の普及と自分の血圧値の把握等，健康の自己管理に関する意識の啓発 ・ 広報誌，インターネット，マスメディア等を活用した正しい情報の提供 ・ 健診結果についての情報提供や保健指導，健康教育，催し物等による知識の普及及び生活習慣改善の動機づけ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
予備群，有病者の早期発見・支援	健診，保健指導受診についての普及啓発の実施と受診しやすい日時，場所の設定などの受診機会の拡大による受診率の向上	○	◎		◎	◎	○	○
	ハイリスク者（※）に対する，効果的な保健指導による生活習慣改善のための動機づけ及び実践への支援	○	◎		◎	◎	○	
保健指導従事者の人材育成	保健指導を効果的，効率的に行うための従事者研修会の開催及び最新情報の提供	◎	○		○			◎
	健診，保健指導の評価に関するデータの分析及び提供	◎	○		○			
脳卒中及び心疾患の実態把握	脳卒中登録管理事業による，脳卒中罹患実態把握の精度向上	◎					○	○
	心疾患登録管理事業による，心疾患罹患実態把握の精度向上	◎					○	○

* 推進主体（21 ページ参照）：◎実施主体，○連携，協力，支援

(※) ハイリスク者：33 ページ参照



目標値達成により期待される成果

(脳卒中死亡率の低減)

生活習慣を改善し、「食塩摂取量の減少」など各論での目標値を達成することにより、脳卒中死亡率は下記のとおり低減すると試算されます。(参考資料47, 48ページ参照)

項 目		現 状	目 標	死亡率の低減
食塩摂取量の減少		11.2 g	10 g 未満	(血圧低下分) 男性 12.4% 女性 12.5%
カリウム摂取量の増加		2.5 g	3.2 g 以上	
多量に飲酒する人の減少	男性	10.5%	7%以下	
日常生活における歩数の増加	男性 女性	7,109歩 5,990歩	8,000歩以上 7,000歩以上	
肥満者の割合の減少		—	10%減少(※)	
非喫煙率の増加	男性 女性	50.0% 86.5%	62%以上 92%以上	15.6% 10.1%
多量に飲酒する人の減少	男性	10.5%	7%以下	1.8%
死亡率の低下合計	男性 女性			29.8% 22.6%



目標値を達成することにより、脳卒中死亡率は男性で約30%、女性で約23%低減すると期待されます。

(虚血性心疾患死亡率の低減)

生活習慣を改善し、「食塩摂取量の減少」など各論での目標値を達成することにより、虚血性心疾患死亡率は下記のとおり低減すると試算されます。(参考資料48ページ参照)

項 目		現 状	目 標	死亡率の低減
食塩摂取量の減少		11.2 g	10 g 未満	(血圧低下分) 男性 10.4% 女性 10.5%
カリウム摂取量の増加		2.5 g	3.2 g 以上	
多量に飲酒する人の減少	男性	10.5%	7%以下	
日常生活における歩数の増加	男性 女性	7,109歩 5,990歩	8,000歩以上 7,000歩以上	
肥満者の割合の減少		—	10%減少(※)	
非喫煙率の増加	男性 女性	50.0% 86.5%	62%以上 92%以上	15.6% 10.1%
多量に飲酒する人の減少	男性	10.5%	7%以下	1.1%
死亡率の低下合計	男性 女性			27.1% 20.6%



目標値を達成することにより、虚血性心疾患死亡率は男性で約27%、女性で約21%低減すると期待されます。

(※) 肥満者の割合の減少：「目標」は、男性・女性それぞれの年代で設定しているため、概算の目標値とした。